

勝浦市鶴原地区の産業廃棄物処分場建設に反対する

勝浦市鶴原字坂ノ下301番1外に産業廃棄物管理型最終処分場を建設しようと株式会社MMI（代表取締役村上守）から千葉県に対し廃棄物処理施設設置等事前協議書が提出され、平成20年7月8日に受理されました。

これ等一連の動き及び反対運動に取り組んでいる地元住民の会の皆さんの活動に接し勝浦地区区長会としても明確に反対の意思を表明します。

比の建設予定地は高さ65mクラスの豊かな傾斜緑地で形成され国道128号まで400mたらずをいっきに滑り降りる地形です。そして勝浦市立清海小学校の前を通り海にそそがれる川筋の大切な水源地域でもあります。

海岸は風光明媚なりアス式海岸特有の恵まれた豊かな磯根を持ち、そのあいだに挟まれている海岸は水質の非常きれいな海です。それ故に、景観資源としての特色、海岸岸保全及び環境保全等の対策、生活者との深い関わり合い等の観点から、優れた渚として、「日本の渚・百選」また「日本の水浴場・88選」、そして「快水浴場・100選」に選定された日本を代表する素晴らしい海水浴場が「守谷、鶴原」の海岸なのです。

また、水産業関係にしても「育てよう、生命のふるさと、青い海」をキャッチフレーズに天皇皇后両陛下の御来勝を得て、守谷海岸で「豊かな海づくり大会」が開催され、全国に向けて「水産資源の保護、海の環境保全を呼びかけていこう」と実行委員長前知 沼田 武先生の名で、母娘が磯から海の幸を運ぶ姿をモニュメントとし多くの人々が誓い合ったところであります。

その他にも東洋一の海中展望塔のある勝浦海中公園、自然造形の美しい「鶴原理想郷」等々、私達が誇りを持って語ることの出来る観光スポットは枚挙にいとまがありません。

それらを全て支えて呉れているのが、これら素晴らしい「きれいな海」なのです。この「きれいな海」を、小さな谷あいから流れ出る水が自然を守る大事な働きをしているのです。海を守る事は、山あいの大事な傾斜緑地を守る事にもつながります。地元の水産資源の保護と観光事業の、よりよい発展のためにも自然環境の融和は何よりも大切にしなければなりません。

地元住民の将来のためにも自然を守り環境保全に努めるとともに、自然汚染の可能性が高い産業廃棄物の最終処分場の建設については、断固反対を表明する事は私達の使命と考えています。

勝浦地区区長会長 太田 耕 正
興津地区区長会長 高 橋 昭
上野地区区長会長 西 川 成 寛
総野地区区長会長 吉 野 将 実